

総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名	P J 13 事件・事故のない安心してらせる地域社会づくり	
	総合評価（検討が必要な事項）	対応内容
総合分析の妥当性等		
	<ul style="list-style-type: none"> 総合分析は概ね妥当である。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 全国の刑法犯認知件数が減少する中で、神奈川県は僅かではあるが、増加した背景を分析する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 白書に刑法犯認知件数が増加した背景の記述を加えました。
	<ul style="list-style-type: none"> 捜査実務指導員を嘱託したことにより、どれだけ現場執行力の向上を図ることができたのか効果を示す必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 白書に捜査実務指導員の効果についての記述を加えました。
	<ul style="list-style-type: none"> ピーガルくん子ども安全メールは保護者から一定の評価を得ているようにうかがえる。また、子ども・女性前兆事案対策班の活動に大いに期待したい。 	
新たな政策課題		
	<ul style="list-style-type: none"> <u>捜査支援システムについて、個人のプライバシーの保護について配慮するとともに、その効果について広報・啓発する必要がある。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施の中で対応を検討します。

総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名	P J 14 大規模地震に備えた対応力の強化	
	総合評価（検討が必要な事項）	対応内容
総合分析の妥当性等		
	<ul style="list-style-type: none"> 総合分析は妥当である。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 県民の意見などに対応して、大規模地震等に対応した広域連携体制の充実強化を図ったことは評価できる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の対応は、ソフト面が重要であり、関東ブロックや八都県市と連携し合同訓練を実施したことは評価できる。 	
新たな政策課題		
	<ul style="list-style-type: none"> <u>三浦半島断層群及び国府津一松田断層帯について、国は重点調査を行う方針を打ち出したが、県も協働して調査を行い県民に調査結果や地震予測を公表する必要がある。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施の中で対応を検討します。
	<ul style="list-style-type: none"> 防災対策の市町村間格差の対策として、防災スペシャリスト・アドバイザーを常駐させ、市町村へ派遣することで市町村レベルの底上げを図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施の中で対応を検討します。

総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名	P J 15 安全で安心な食生活・消費生活の確保	
	総合評価（検討が必要な事項）	対応内容
総合分析の妥当性等		
	<ul style="list-style-type: none"> 総合分析は妥当である。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 食品安全に関する現状と県民の意向を踏まえ、監視・指導がなされていたと評価する。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 「総合分析」中の相談員の育成に関して、相談員育成ための研修会参加者数を記載する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 白書に研修会への参加者数を加えました。
新たな政策課題		
	<ul style="list-style-type: none"> <u>食の安全・安心推進条例の制定に取り組んでいるが、条例の運用にあたっては、県民や事業者と県が一体となって県民運動により、食の安全・安心を確保していく必要がある。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施の中で対応を検討します。